



平成 30 年 4 月 9 日

各 位

会 社 名	株式会社 キッツ
代表者名	代表取締役社長 堀田 康之
コード番号	6498 (東証第一部)
問合せ先	広報・I R 室長 向井 真也 Tel (043) 299 - 0142

韓国企業 Cephac Pipelines Corp. の 100% 株式取得に関するお知らせ

当社は、韓国のバルブメーカー Cephac Pipelines Corp. (以下、Cephac 社という) の 100% 株式について、所有者である創業者と 2018 年 3 月 30 日に株式譲渡契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。株式等の譲り受けは、2018 年 4 月 17 日に完了する予定です。

記

1. 株式取得の目的

Cephac 社は、豊富な製品ラインナップを有し、且つ大口径まで生産可能なバタフライバルブに特化したバルブメーカーであり、当社が第 3 期中期経営計画 (2016 年度～2018 年度) で重点市場に掲げている石油化学分野をはじめ、発電所、石油精製、海水淡水化設備及び船舶などで使用される工業用バタフライバルブに強みを有しています。当社は、2014 年より、Cephac 社のバタフライバルブを調達しており、すでに国内外において多数の納入実績があります。

近年はプラントの大規模化に伴い、使用される配管の口径が大きくなる傾向にあり、大口径に適したバタフライバルブが求められています。また、バタフライバルブは他の形状のバルブに比べ、配管設置の寸法を小さくすることができる特徴があり、様々なプラントなどでの採用が拡大しています。それに伴い、バタフライバルブに対して低温から高温、高圧など様々な流体への対応が求められるようになり、バタフライバルブの需要は今後もさらに拡大していくものと考えております。

Cephac 社は、このようなお客様の多様なニーズに応えるため、自社での技術開発により、バタフライバルブメーカーとして屈指の大口径製品の生産体制と、幅広い流体に対応できる製品ラインナップを拡大してきました。当社においても、バタフライバルブのラインナップ拡充を進めてまいりましたが、今後は両社の強みを活かした生産体制を構築し、さらにキッツのグローバルネットワークにより、バタフライバルブの売上拡大を図ってまいります。

2. Cephass社の概要

(1) 名 称	Cephas Pipelines Corp. (シーパス パイプライン)
(2) 所 在 地	592-2, Hwa jeon-dong, Gangseo-gu, Busan, Korea
(3) 代 表 者 の 氏 名	Cho Yeong Duck
(4) 事 業 内 容	工業用バタフライバルブの製造・販売
(5) 資 本 金	2,454百万ウォン (約2億45百万円)
(6) 設 立 年 月 日	1990年7月20日
(7) 従 業 員 数	85名
(8) 売 上 高	30,802百万ウォン (約30億80百万円) 2016年12月期

(為替: 1ウォン = 【0.10円】にて計算しております)

以上